

## 担い手育成特定資産事業 活用事例紹介（釜石・大槌地域農業振興協議会）

執筆担当 大船渡農業改良普及センター 畠山 隆幸

釜石・大槌地域農業振興協議会では、5月24日に農業・家庭菜園に興味のある方を対象に「農業体験塾」を開催しました。

本体験塾は、「農業体験を通じて野菜づくりに関する基礎知識を学ぶとともに、農業への関心を高め、将来的な就農を促すこと」を目的としたもので、10歳未満から70代の10名に参加いただきました。

はじめに、さとり株式会社の伊藤将太氏を講師に、野菜の特徴・栽培方法・農のある暮らしについて説明いただきました。その後、参加者はマルチ張りや植付けを体験しました。

参加者からは、土づくりを含めた野菜の栽培方法、非農家からの農業参入、農業の始め方、情報提供されるSNSアカウント等について質問が寄せられ、活発な情報交換が行われました。協議会からは、家庭菜園、農業をはじめたいときの問合せ先について情報提供しました。

参加者からは、「市民農園を始めたので、とても参考になった」、「興味のある話が聞けて良かった」、「普段畑などやっていないので、実際に土を触りながらのお話など楽しかったです」、「ネットでは知ることができないコツを知ることができた」、「とても丁寧だった」といった意見も寄せられるなど、学びの多い体験会となりました。

当協議会では、今後も農業に関心のある方、新規就農を希望者するみなさまを地域一体で支援していきます。



体験会の様子



マルチ張りの指導を行う伊藤氏と参加者